

脳卒中発症登録事業状況

県内の医療機関から提供された脳卒中患者（死亡を含む。）の発症登録の状況は次のとおりである。

ここでは脳卒中登録様式 1 号に基づき情報提供された脳卒中患者情報のうち、平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日までの発症として登録したものについて扱う。（表中の率【％】については小数点以下第 2 位を四捨五入した値、図中の率【％】については小数点以下第 1 位を四捨五入した値を示した。）

1 医療機関所在地別報告状況

協力医療機関の所在地により区分した場合の報告状況である。

	協力医療機関数	発症登録のべ件数	うち死亡件数
宇都宮市	6	1,418	116
県西健康福祉センター	5	345	41
県東健康福祉センター	3	326	31
県南健康福祉センター	8	1,200	118
県北健康福祉センター	6	691	111
安足健康福祉センター	2	341	43
合計	30	4,321	460
急性期医療機関	8	1,929	174
急性期及び回復期医療機関	9	1,816	222
回復期医療機関	9	484	48
それ以外の医療機関	3	92	16

2 患者住所地別報告状況

登録された患者の住所により区分した場合の報告状況である。

	協力医療機関数	発症登録のべ件数	うち死亡件数
宇都宮市	17	1,139	85
県西健康福祉センター	18	550	62
県東健康福祉センター	14	404	42
県南健康福祉センター	18	945	101
県北健康福祉センター	14	950	131
安足健康福祉センター	8	333	39
合計	—	4,321	460

3 病型別・初発再発別登録状況

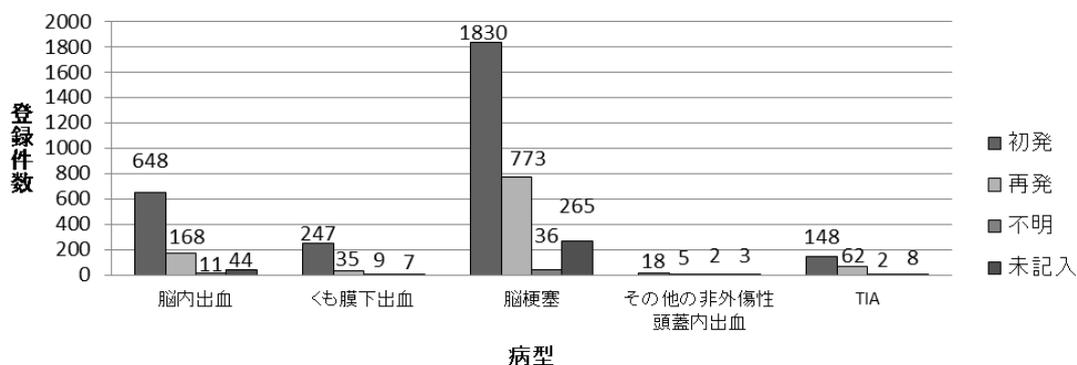
病型別の登録状況では、脳梗塞の診断が最も多く 2,904 件 (67.2%)、次いで脳内出血 871 件 (20.2%)、くも膜下出血 298 件 (6.9%) であった。初発再発別の登録状況では、初発の診断が 2,891 件 (66.9%)、再発が 1,043 件 (24.1%)、不明が 60 件 (1.4%)、未記入が 327 件 (7.6%) であった (表 1・図 1)。

全登録に占める再発率は、脳梗塞で 26.6% (773/2,904 件)、脳内出血で 20.2% (168/871 件)、くも膜下出血で 11.7% (35/298 件) であった。

表1 病型別初発再発別登録件数

診断病型	初発	再発	不明	未記入	登録数
脳内出血	648	168	11	44	871
くも膜下出血	247	35	9	7	298
脳梗塞合計	1830	773	36	265	2904
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	721	278	15	83	1097
脳梗塞-心原性脳梗塞	434	205	10	50	699
脳梗塞-ラクナ梗塞	352	165	4	55	576
脳梗塞-その他の脳梗塞	205	67	5	48	325
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	49	24	1	3	77
脳梗塞-未記入	69	34	1	26	130
その他の非外傷性頭蓋内出血	18	5	2	3	28
TIA	148	62	2	8	220
総計	2891	1043	60	327	4321

図1 病型別初発再発別登録件数



4 性別・年齢階級別登録状況

1) 性別・年齢階級別登録状況

年齢階級別では、男は70歳代、女は80歳代の登録件数が最多であった(図2)。女は、男に比べ高年齢の割合が多く、80歳以上が多かった(図3・4)。

図2 性別年齢階級別登録件数

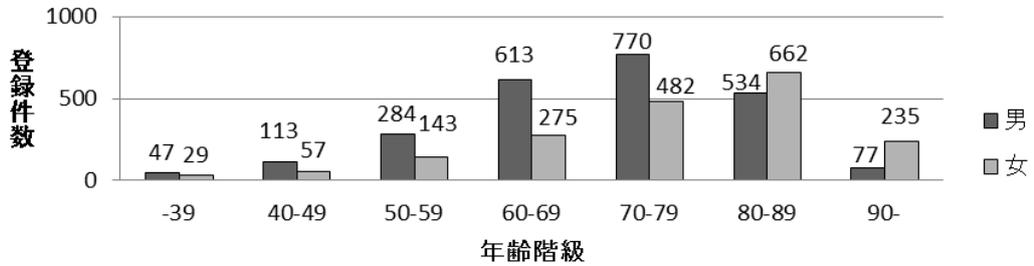


図3 年齢階級別の登録者の構成

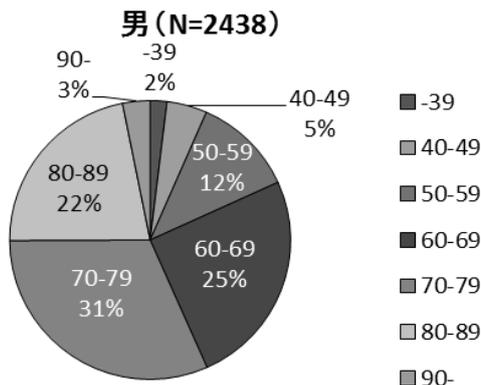
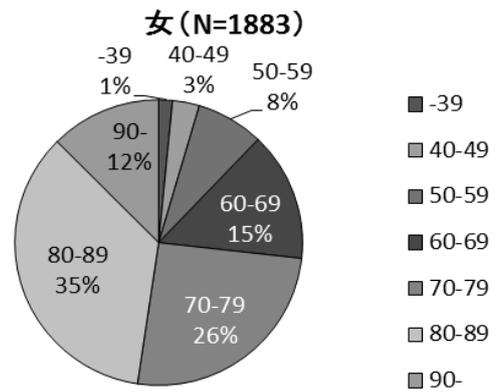


図4 年齢階級別の登録者の構成



2) 病型別・初発再発別・性別・年齢階級別登録状況

(1) 脳内出血

初発では、男は60歳代、女は70歳代が最多であった(図5)。

再発では、男女ともに、70~89歳が多かった(図6)。

図5 性別年齢階級別登録件数(脳内出血 初発)

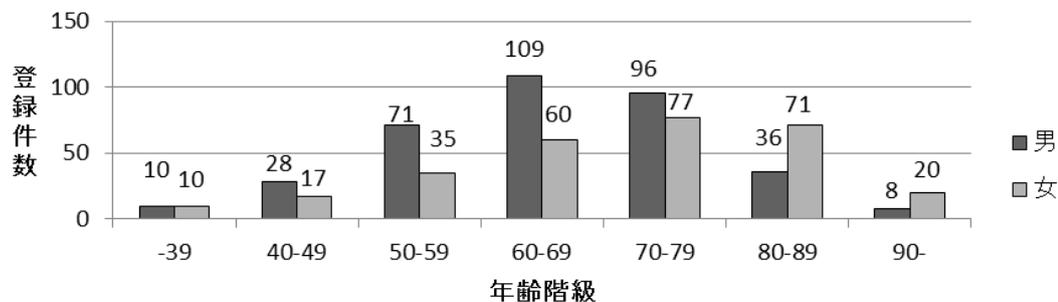
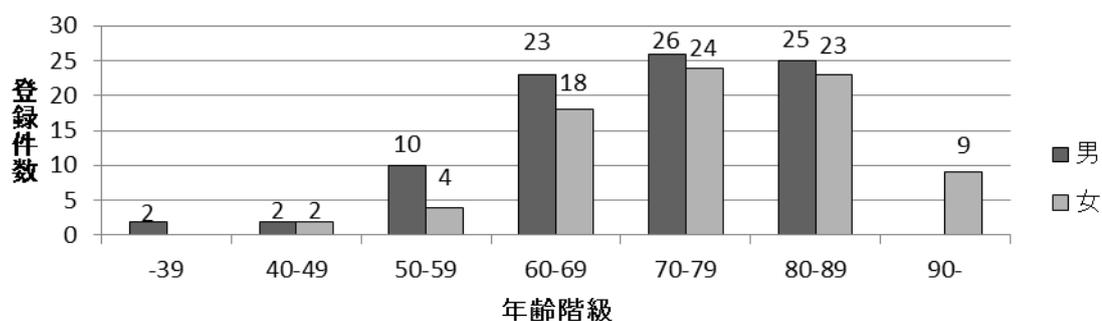


図6 性別年齢階級別登録件数(脳内出血 再発)



(2) くも膜下出血

初発では、男は50~69歳で多く、女は70歳代で最多だった(図7)。

再発は、全体に報告数が少なく、女は70歳代が多かった(図8)。

図7 性別年齢階級別登録件数(くも膜下出血 初発)

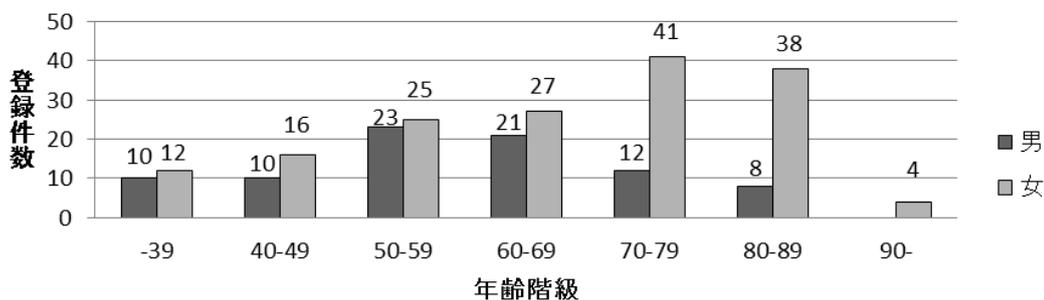
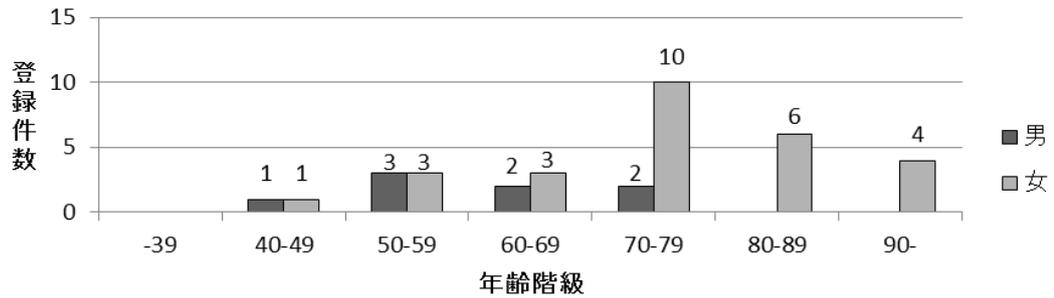


図8 性別年齢階級別登録件数(くも膜下出血 再発)



(3)脳梗塞

①脳梗塞合計*

*アテローム血栓性梗塞、心原性脳塞栓、ラクナ梗塞、その他の脳梗塞、病型不明の脳梗塞、未記入の合計

男は、初発・再発ともに70歳代が最も多く、女は80歳代が多かった(図9・10)。

図9 性別年齢階級別登録件数(脳梗塞合計 初発)

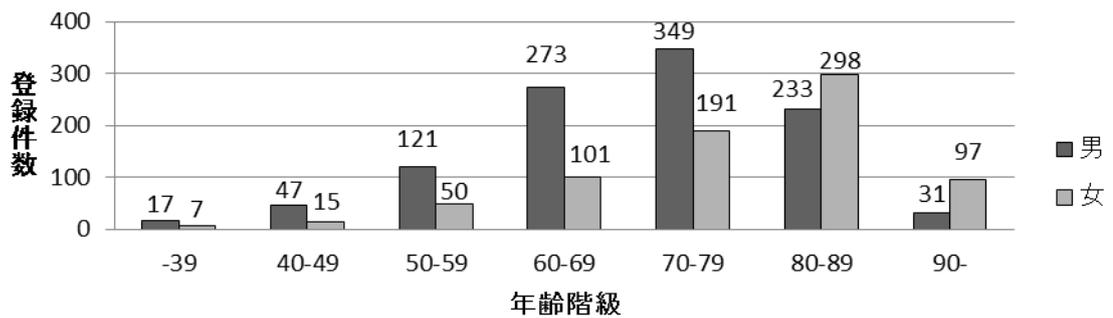
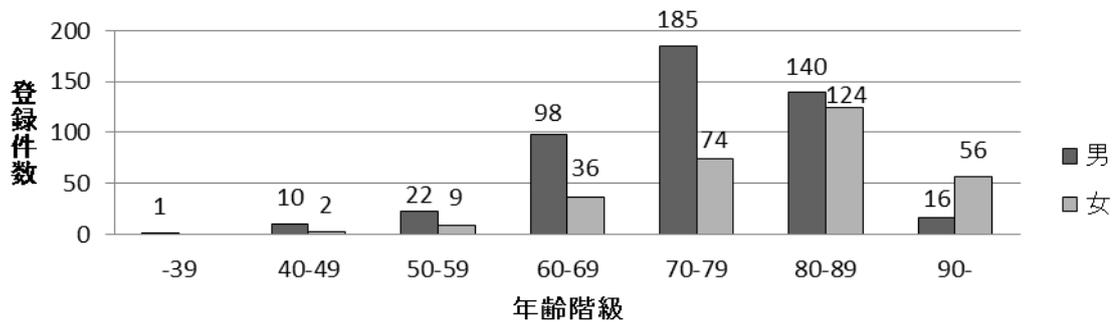


図10 性別年齢階級別登録件数(脳梗塞合計 再発)



②アテローム血栓性梗塞

初発・再発ともに、男は70歳代、女は80歳代が最多であった（図11・12）。

図11 性別年齢階級別登録件数(アテローム血栓性脳梗塞 初発)

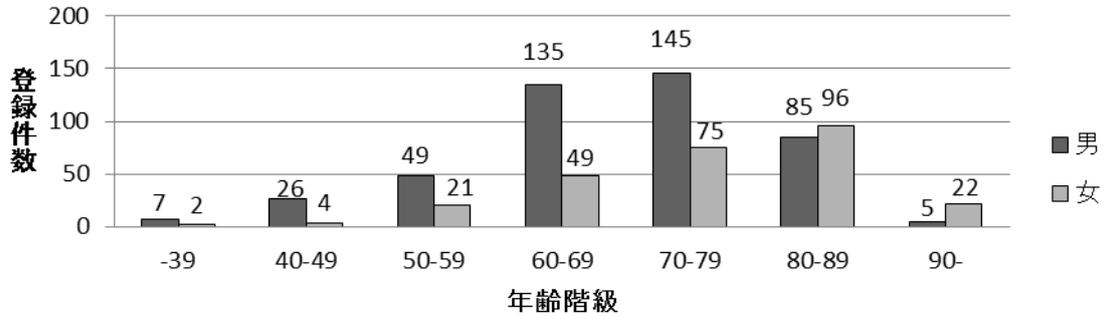
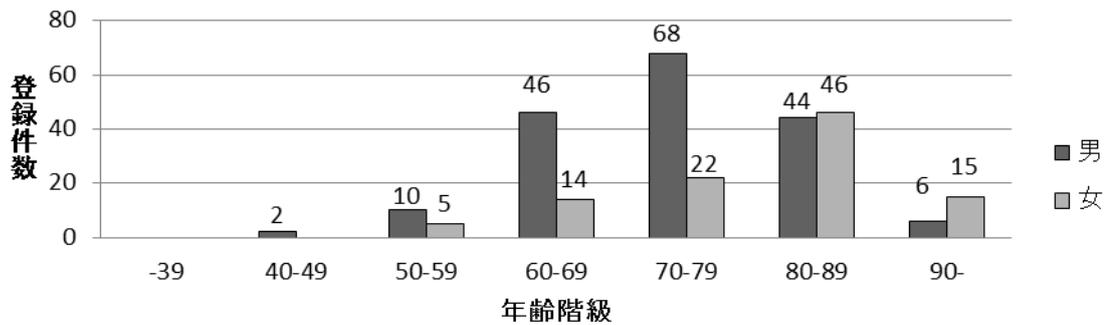


図12 性別年齢階級別登録件数(アテローム血栓性脳梗塞 再発)



③心原性脳梗塞

初発・再発ともに男は70歳代、女は80歳代が最も多かった（図13・14）。

図13 性別年齢階級別登録件数(心原性脳梗塞 初発)

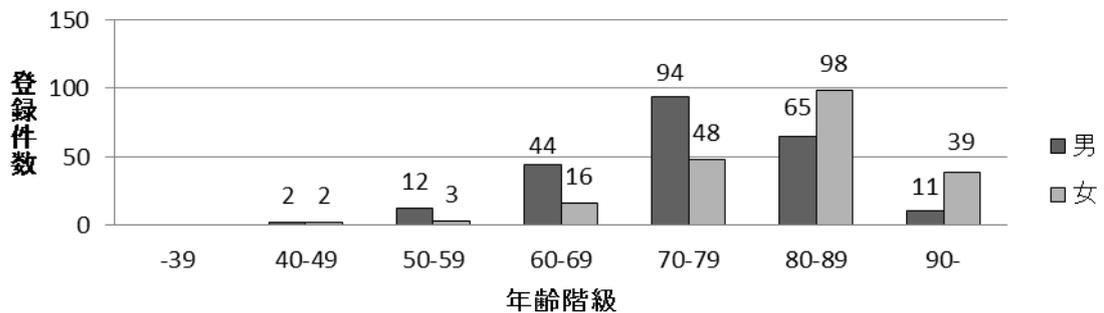
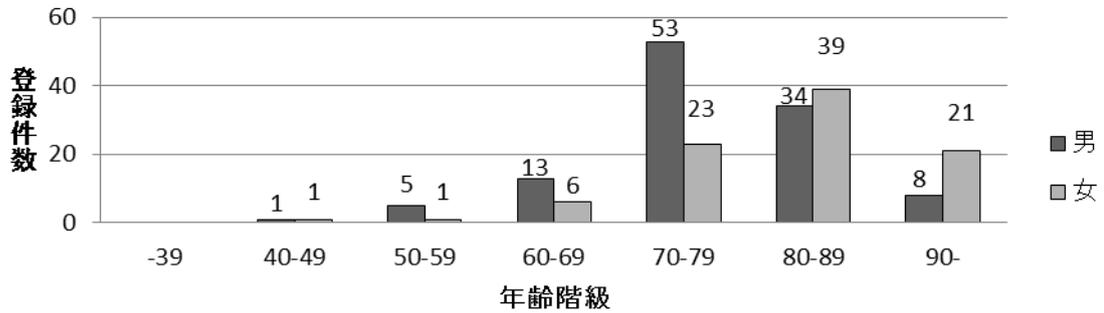


図14 性別年齢階級別登録件数(心原性脳梗塞 再発)



④ラクナ梗塞

初発の男は60～79歳、女は80歳代が最も多かった(図15)。

再発は、男女ともに70歳代が最も多かった(図16)

図15 性別年齢階級別登録件数(ラクナ梗塞 初発)

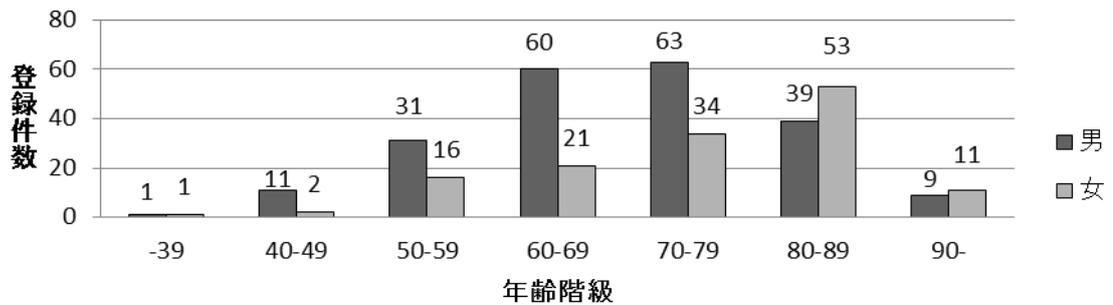
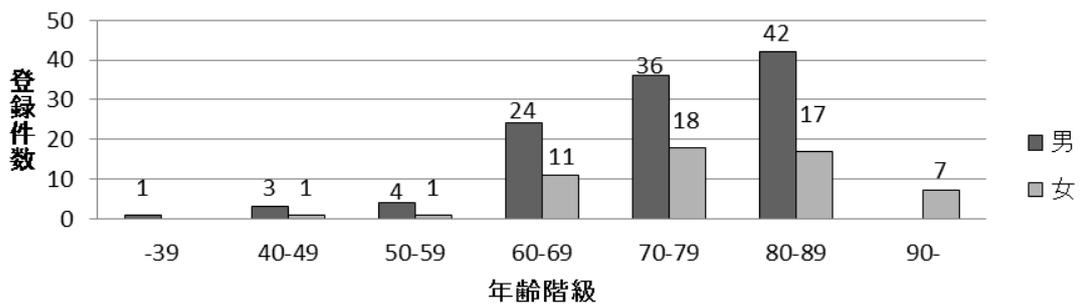


図16 性別年齢階級別登録件数(ラクナ梗塞 再発)



(4) TIA

初発の男は60歳代が最も多く、女は80歳代が最も多かった(図17)。

再発の男は70歳代が最も多く、女は60~89歳が多かった(図18)。

図17 性別年齢階級別登録件数(TIA 初発)

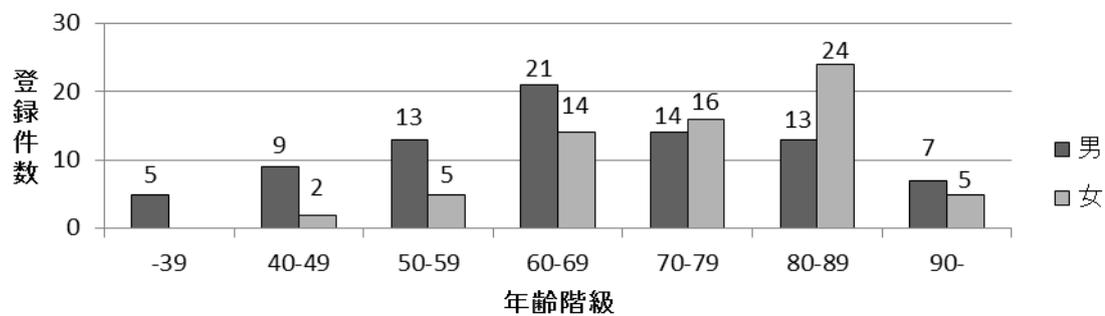
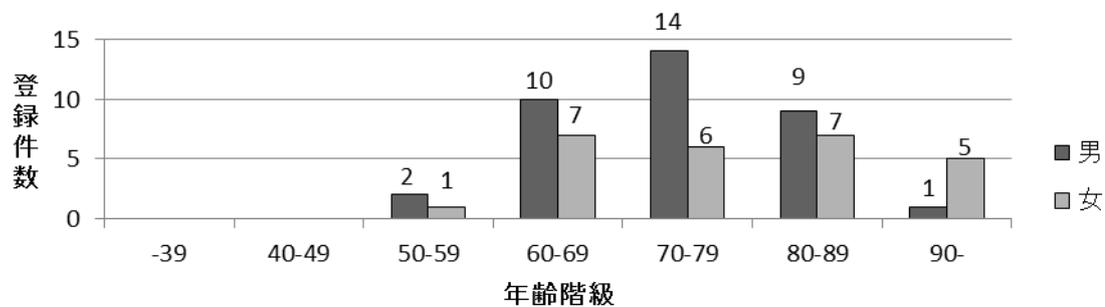


図18 性別年齢階級別登録件数(TIA 再発)



5 患者の受診状況

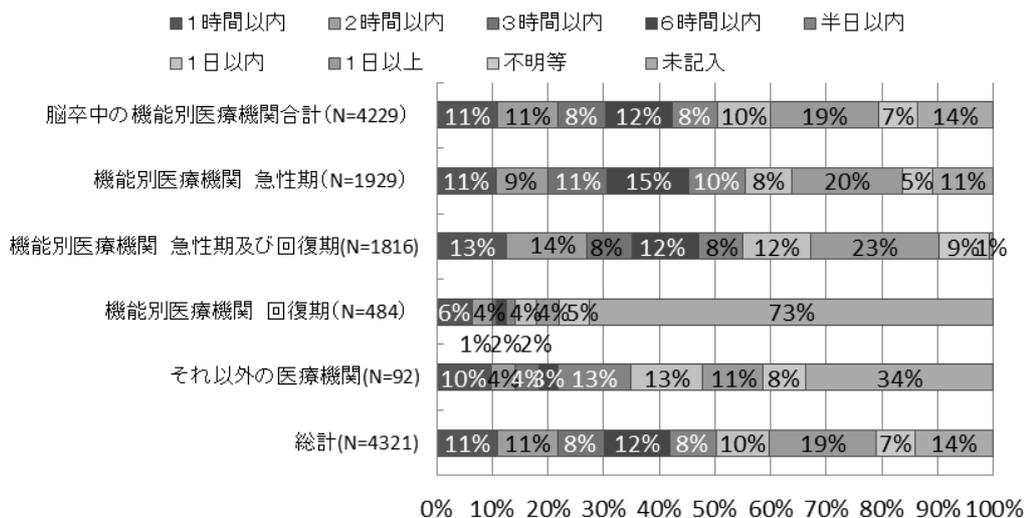
1) 受診までの経過時間

(1) 受診までの経過時間（機能別医療機関別）

受診までの経過時間が3時間以内の割合は、全医療機関で30.0%、脳卒中の機能別医療機関では30.3%、それ以外の医療機関では18.5%だった。機能別医療機関のうち、急性期治療を担う医療機関*では32.8%だった（図19）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

図19 受診までの経過時間(機能別医療機関別)

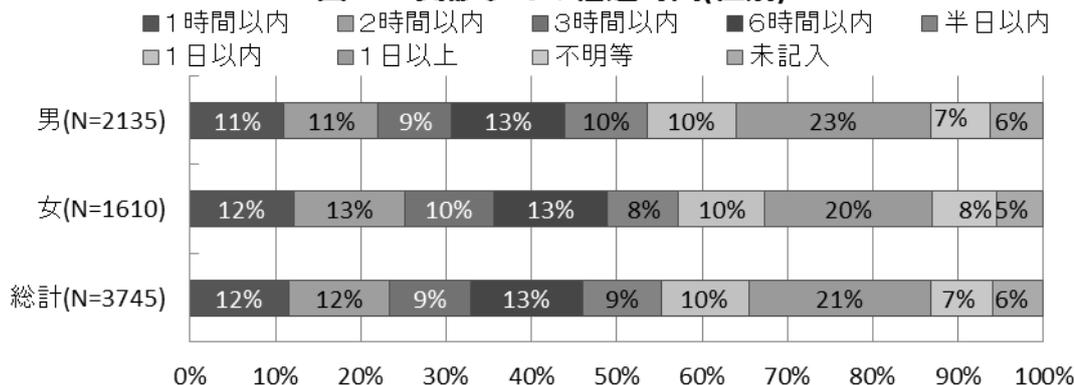


(2) 急性期治療を担う医療機関*における受診までの経過時間（性別）

受診までの経過時間が3時間以内の割合は、男で30.7%、女35.7%であった（図20）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

図20 受診までの経過時間(性別)

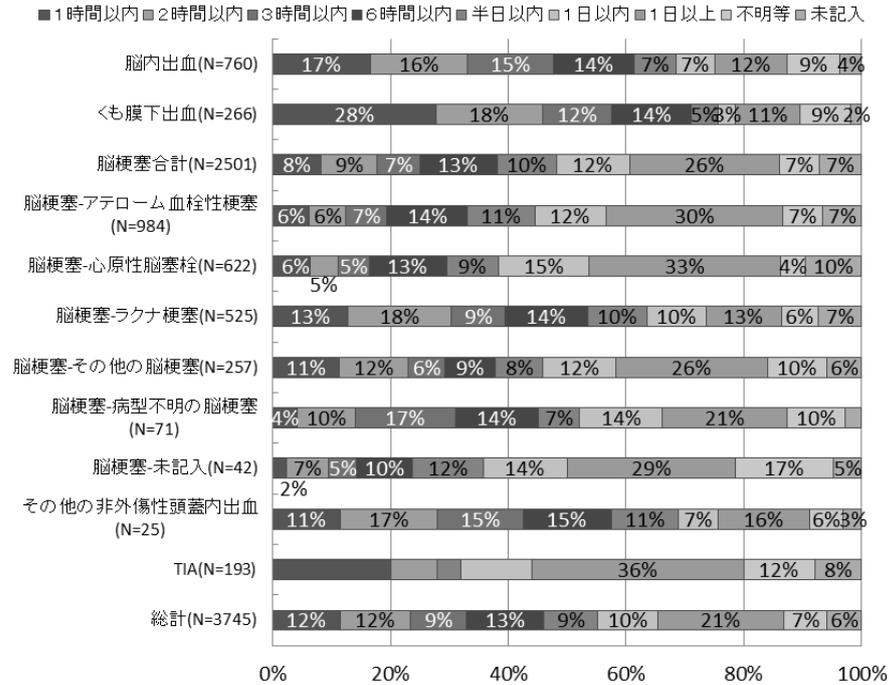


(3) 急性期治療を担う医療機関*における受診までの経過時間（病型別）

受診までの経過時間が3時間以内の割合は、くも膜下出血で57.5%と高く、次いで脳内出血では47.6%であった。一方、脳梗塞合計では、25.0%であり、他の病型に比べ発症からの経過時間が長い傾向がみられた（図21）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

図21 受診までの経過時間(病型別)

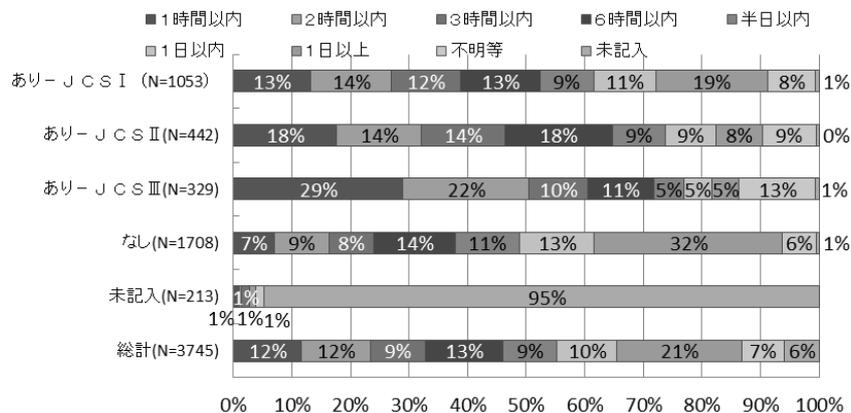


(4) 急性期治療を担う医療機関*における受診までの経過時間（意識障害の程度別）

受診までの経過時間が3時間以内の割合は、意識障害が重度であるJCS-III（刺激しても覚醒しない状態）で60.5%、次いでJCS-II（刺激すると覚醒する状態、刺激をやめると眠り込む状態）で46.4%、JCS-I（刺激しないでも覚醒している状態）で38.8%であり、重症度が高いほど受診までの時間は短かった（図22）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

図22 受診までの経過時間(意識障害の程度別)



2) 受診の手段

(1) 受診の手段（機能別医療機関別）

全医療機関における受診の手段は、救急車（消防）44.9%、自家用車等 37.2%の順に多かった。

急性期治療を担う医療機関では、救急車（消防及び他医療機関）による受診が 50.9%であった（表 2）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

表2 受診の手段（機能別医療機関別）

機能別医療機関	登録数	救急車(消防)	救急車(他医療機関)	自家用車等	その他	未記入
脳卒中の機能別医療機関合計	4229	1903 (45.0%)	68 (1.6%)	1587 (37.5%)	121 (2.9%)	550 (13.0%)
急性期	1929	944 (48.9%)	41 (2.1%)	690 (35.8%)	51 (2.6%)	203 (10.5%)
急性期及び回復期	1816	907 (49.9%)	14 (0.8%)	840 (46.3%)	50 (2.8%)	5 (0.3%)
回復期	484	52 (10.7%)	13 (2.7%)	57 (11.8%)	20 (4.1%)	342 (70.7%)
それ以外の医療機関	92	39 (42.4%)	1 (1.1%)	19 (20.7%)	2 (2.2%)	31 (33.7%)
総計	4321	1942 (44.9%)	69 (1.6%)	1606 (37.2%)	123 (2.8%)	581 (13.4%)

(2) 急性期治療を担う医療機関*における受診の手段（病型別）

脳内出血及びくも膜下出血では「救急車（消防）」による受診が 6～7 割程度を占め、脳梗塞合計では「自家用車等」による受診が 44.0%と多かった。特に脳梗塞の細分類別に見ると、ラクナ梗塞では 58.5%、アテローム血栓性梗塞では 50.3%が自家用車等で受診していた（表 3）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

表3 受診の手段（病型別）

診断病型	登録数	救急車(消防)	救急車(他医療機関)	自家用車等	その他	未記入
脳内出血	871	557 (63.9%)	13 (1.5%)	159 (18.3%)	28 (3.2%)	114 (13.1%)
くも膜下出血	298	214 (71.8%)	6 (2.0%)	41 (13.8%)	8 (2.7%)	29 (9.7%)
脳梗塞合計	2904	1070 (36.8%)	48 (1.7%)	1277 (44.0%)	82 (2.8%)	427 (14.7%)
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	1097	348 (31.7%)	13 (1.2%)	552 (50.3%)	25 (2.3%)	159 (14.5%)
脳梗塞-心原性脳梗塞	699	367 (52.5%)	17 (2.4%)	192 (27.5%)	26 (3.7%)	97 (13.9%)
脳梗塞-ラクナ梗塞	576	161 (28.0%)	2 (0.3%)	337 (58.5%)	6 (1.0%)	70 (12.2%)
脳梗塞-その他の脳梗塞	325	120 (36.9%)	3 (0.9%)	116 (35.7%)	20 (6.2%)	66 (20.3%)
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	77	31 (40.3%)	3 (3.9%)	31 (40.3%)	5 (6.5%)	7 (9.1%)
脳梗塞-未記入	130	43 (33.1%)	10 (7.7%)	49 (37.7%)	(0.0%)	28 (21.5%)
その他の非外傷性頭蓋内出血	28	11 (39.3%)	(0.0%)	14 (50.0%)	(0.0%)	3 (10.7%)
TIA	220	90 (40.9%)	2 (0.9%)	115 (52.3%)	5 (2.3%)	8 (3.6%)
総計	4321	1942 (44.9%)	69 (1.6%)	1606 (37.2%)	123 (2.8%)	581 (13.4%)

(3) 急性期治療を担う医療機関*における受診の手段（意識障害の程度別）

意識障害の程度が重度である JCS-III では 89.7%が救急車（消防）と最も多く、軽度である JCS-I では 32.4%が自家用車で受診していた（表 4）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

表4 受診の手段（意識障害の程度別）

意識障害	登録数	救急車(消防)	救急車(他医療機関)	自家用車等	その他	未記入
あり-JCS I	1053	655 (62.2%)	20 (1.9%)	341 (32.4%)	34 (3.2%)	3 (0.3%)
あり-JCS II	442	357 (80.8%)	9 (2.0%)	60 (13.6%)	16 (3.6%)	(0.0%)
あり-JCS III	329	295 (89.7%)	6 (1.8%)	10 (3.0%)	18 (5.5%)	(0.0%)
なし	1708	536 (31.4%)	20 (1.2%)	1117 (65.4%)	32 (1.9%)	3 (0.2%)
未記入	213	8 (3.8%)	(0.0%)	2 (0.9%)	1 (0.5%)	202 (94.8%)
総計	3745	1851 (49.4%)	55 (1.5%)	1530 (40.9%)	101 (2.7%)	208 (5.6%)

3)機能別医療機関区分（病型別）

病型別に機能別医療機関の登録の状況をみると、急性期治療を担う医療機関からの登録は、脳内出血 87.3%、くも膜下出血 89.3%、脳梗塞合計 86.1%で多くを占めた（表5）。

表5 機能別医療機関別（病型別）

診断病型	脳卒中中の機能別医療機関				それ以外の医療機関	登録数
	脳卒中中の機能別医療機関合計	急性期	急性期及び回復期	回復期		
脳内出血	858 (98.5%)	423 (48.6%)	337 (38.7%)	98 (11.3%)	13 (1.5%)	871
くも膜下出血	293 (98.3%)	152 (51.0%)	114 (38.3%)	27 (9.1%)	5 (1.7%)	298
脳梗塞合計	2838 (97.7%)	1228 (42.3%)	1273 (43.8%)	337 (11.6%)	66 (2.3%)	2904
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	1078 (98.3%)	505 (46.0%)	479 (43.7%)	94 (8.6%)	19 (1.7%)	1097
脳梗塞-心原性脳梗塞	690 (98.7%)	324 (46.4%)	298 (42.6%)	68 (9.7%)	9 (1.3%)	699
脳梗塞-ラクナ梗塞	556 (96.5%)	214 (37.2%)	311 (54.0%)	31 (5.4%)	20 (3.5%)	576
脳梗塞-その他の脳梗塞	320 (98.5%)	138 (42.5%)	119 (36.6%)	63 (19.4%)	5 (1.5%)	325
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	77 (100.0%)	37 (48.1%)	34 (44.2%)	6 (7.8%)	(0.0%)	77
脳梗塞-未記入	117 (90.0%)	10 (7.7%)	32 (24.6%)	75 (57.7%)	13 (10.0%)	130
その他の非外傷性頭蓋内出血	27 (96.4%)	13 (46.4%)	12 (42.9%)	2 (7.1%)	1 (3.6%)	28
TIA	213 (96.8%)	113 (51.4%)	80 (36.4%)	20 (9.1%)	7 (3.2%)	220
総計	4229 (97.9%)	1929 (44.6%)	1816 (42.0%)	484 (11.2%)	92 (2.1%)	4321

4)診断に用いた検査（複数回答）

(1)診断に用いた検査（機能別医療機関別）

急性期治療を担う医療機関*では、MRI、MRAが多かった（表6）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

表6 診断に用いた検査（機能別医療機関別）

機能別医療機関	登録数	MRI	MRA	CT	CTA	血管撮影	髄液検査
脳卒中中の機能別医療機関合計	4229	2422 (57.3%)	977 (23.1%)	1846 (43.7%)	28 (0.7%)	142 (3.4%)	2 (0.0%)
急性期	1929	1072 (55.6%)	485 (25.1%)	1005 (52.1%)	20 (1.0%)	98 (5.1%)	2 (0.1%)
急性期及び回復期	1816	1286 (70.8%)	490 (27.0%)	742 (40.9%)	8 (0.4%)	44 (2.4%)	(0.0%)
回復期	484	64 (13.2%)	2 (0.4%)	99 (20.5%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
それ以外の医療機関	92	25 (27.2%)	6 (6.5%)	50 (54.3%)	2 (2.2%)	1 (1.1%)	(0.0%)
総計	4321	2447 (56.6%)	983 (22.7%)	1896 (43.9%)	30 (0.7%)	143 (3.3%)	2 (0.0%)

機能別医療機関	登録数	頸動脈エコー	脳波	心電図	心エコー	ホルター心電図
脳卒中中の機能別医療機関合計	4229	158 (3.7%)	12 (0.3%)	779 (18.4%)	250 (5.9%)	97 (2.3%)
急性期	1929	124 (6.4%)	3 (0.2%)	624 (32.3%)	198 (10.3%)	63 (3.3%)
急性期及び回復期	1816	31 (1.7%)	4 (0.2%)	116 (6.4%)	25 (1.4%)	14 (0.8%)
回復期	484	3 (0.6%)	5 (1.0%)	39 (8.1%)	27 (5.6%)	20 (4.1%)
それ以外の医療機関	92	1 (1.1%)	(0.0%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)
総計	4321	159 (3.7%)	12 (0.3%)	780 (18.1%)	251 (5.8%)	98 (2.3%)

(2)急性期治療を担う医療機関*における診断に用いた検査（病型別）

脳出血及びくも膜下出血ではCTが8割以上と多く、脳梗塞合計ではMRIが79.4%と多かった（表7）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

表7 診断に用いた検査（病型別）

診断病型	登録数	MRI	MRA	CT	CTA	血管撮影	髄液検査
脳内出血	760	154 (20.3%)	61 (8.0%)	669 (88.0%)	7 (0.9%)	34 (4.5%)	(0.0%)
くも膜下出血	266	48 (18.0%)	27 (10.2%)	223 (83.8%)	15 (5.6%)	76 (28.6%)	1 (0.4%)
脳梗塞合計	2501	1987 (79.4%)	814 (32.5%)	762 (30.5%)	5 (0.2%)	31 (1.2%)	1 (0.0%)
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	984	780 (79.3%)	348 (35.4%)	273 (27.7%)	2 (0.2%)	15 (1.5%)	(0.0%)
脳梗塞-心原性脳梗塞	622	486 (78.1%)	191 (30.7%)	211 (33.9%)	1 (0.2%)	3 (0.5%)	1 (0.2%)
脳梗塞-ラクナ梗塞	525	429 (81.7%)	151 (28.8%)	149 (28.4%)	(0.0%)	3 (0.6%)	(0.0%)
脳梗塞-その他の脳梗塞	257	201 (78.2%)	82 (31.9%)	97 (37.7%)	2 (0.8%)	6 (2.3%)	(0.0%)
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	71	58 (81.7%)	33 (46.5%)	22 (31.0%)	0 (0.0%)	4 (5.6%)	(0.0%)
脳梗塞-未記入	42	33 (78.6%)	9 (21.4%)	10 (23.8%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
その他の非外傷性頭蓋内出血	25	16 (64.0%)	(0.0%)	15 (60.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
TIA	193	153 (79.3%)	73 (37.8%)	78 (40.4%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	(0.0%)
総計	3745	2358 (63.0%)	975 (26.0%)	1747 (46.6%)	28 (0.7%)	142 (3.8%)	2 (0.1%)

診断病型	登録数	頸動脈エコー	脳波	心電図	心エコー	ホルター心電図
脳内出血	760	3 (0.4%)	1 (0.1%)	84 (11.1%)	13 (1.7%)	(0.0%)
くも膜下出血	266	(0.0%)	(0.0%)	39 (14.7%)	20 (7.5%)	(0.0%)
脳梗塞合計	2501	139 (5.6%)	3 (0.1%)	560 (22.4%)	177 (7.1%)	68 (2.7%)
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	984	81 (8.2%)	(0.0%)	206 (20.9%)	64 (6.5%)	31 (3.2%)
脳梗塞-心原性脳梗塞	622	28 (4.5%)	2 (0.3%)	229 (36.8%)	69 (11.1%)	19 (3.1%)
脳梗塞-ラクナ梗塞	525	9 (1.7%)	1 (0.2%)	71 (13.5%)	21 (4.0%)	4 (0.8%)
脳梗塞-その他の脳梗塞	257	19 (7.4%)	(0.0%)	48 (18.7%)	21 (8.2%)	13 (5.1%)
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	71	2 (2.8%)	(0.0%)	3 (4.2%)	1 (1.4%)	1 (1.4%)
脳梗塞-未記入	42	(0.0%)	(0.0%)	3 (7.1%)	1 (2.4%)	(0.0%)
その他の非外傷性頭蓋内出血	25	(0.0%)	1 (4.0%)	8 (32.0%)	1 (4.0%)	(0.0%)
TIA	193	13 (6.7%)	2 (1.0%)	49 (25.4%)	12 (6.2%)	9 (4.7%)
総計	3745	155 (4.1%)	7 (0.2%)	740 (19.8%)	223 (6.0%)	77 (2.1%)

(3) 急性期治療を担う医療機関*における診断に用いた検査（意識障害の程度別）

重症度が高くなるとCTが多く、重症度が低くなるとMRIが多くなる傾向があった(表8)。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

表8 診断に用いた検査(意識障害の程度別)

意識障害	登録数	MRI	MRA	CT	CTA	血管撮影	髄液検査
あり-JCS I	1053	677 (64.3%)	278 (26.4%)	588 (55.8%)	7 (0.7%)	38 (3.6%)	(0.0%)
あり-JCS II	442	218 (49.3%)	88 (19.9%)	306 (69.2%)	5 (1.1%)	25 (5.7%)	1 (0.2%)
あり-JCS III	329	109 (33.1%)	32 (9.7%)	252 (76.6%)	8 (2.4%)	29 (8.8%)	(0.0%)
なし	1708	1346 (78.8%)	576 (33.7%)	597 (35.0%)	8 (0.5%)	48 (2.8%)	1 (0.1%)
未記入	213	8 (3.8%)	1 (0.5%)	4 (1.9%)	(0.0%)	2 (0.9%)	(0.0%)
総計	3745	2358 (63.0%)	975 (26.0%)	1747 (46.6%)	28 (0.7%)	142 (3.8%)	2 (0.1%)

意識障害	登録数	頸動脈エコー	脳波	心電図	心エコー	ホルター心電図
あり-JCS I	1053	25 (2.4%)	2 (0.2%)	240 (22.8%)	60 (5.7%)	14 (1.3%)
あり-JCS II	442	21 (4.8%)	2 (0.5%)	97 (21.9%)	28 (6.3%)	8 (1.8%)
あり-JCS III	329	6 (1.8%)	1 (0.3%)	72 (21.9%)	32 (9.7%)	2 (0.6%)
なし	1708	103 (6.0%)	2 (0.1%)	328 (19.2%)	103 (6.0%)	53 (3.1%)
未記入	213	(0.0%)	(0.0%)	3 (1.4%)	(0.0%)	(0.0%)
総計	3745	155 (4.1%)	7 (0.2%)	740 (19.8%)	223 (6.0%)	77 (2.1%)

5) リハビリテーション

(1) リハビリテーションの実施状況（病型別）

リハビリテーション「実施あり」の割合は全体の71.6%であった。病型別にみると、脳梗塞合計で75.7%と最も実施率が高かった（表9）。

表9 リハビリテーションの実施状況(病型別)

診断病型	登録数	実施	未実施	未記入	実施率
脳内出血	871	644	188	39	73.9%
くも膜下出血	298	191	101	6	64.1%
脳梗塞合計	2904	2198	461	245	75.7%
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	1097	887	127	83	80.9%
脳梗塞-心原性脳梗塞	699	539	111	49	77.1%
脳梗塞-ラクナ梗塞	576	422	100	54	73.3%
脳梗塞-その他の脳梗塞	325	215	62	48	66.2%
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	77	55	19	3	71.4%
脳梗塞-未記入	130	80	42	8	61.5%
その他の非外傷性頭蓋内出血	28	10	15	3	35.7%
TIA	220	49	160	11	22.3%
総計	4321	3092	925	304	71.6%

(2) 急性期治療を担う医療機関*におけるリハビリテーションの実施状況（意識障害の程度別）

リハビリテーションの実施率では、意識障害の程度が軽度であるJCS Iで84.0%と最も高く、重度であるJCS IIIで47.1%と最も低かった（表10）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

表10 リハビリテーションの実施状況(意識障害の程度別)

意識障害	登録数	実施	未実施	未記入	実施率
あり-JCS I	1053	885	166	2	84.0%
あり-JCS II	442	344	98		77.8%
あり-JCS III	329	155	171	3	47.1%
なし	1708	1305	399	4	76.4%
未記入	213	9	4	200	4.2%
総計	3745	2698	838	209	72.0%

(3) リハビリテーションの実施状況（機能別医療機関別）

急性期及び回復期医療機関の実施率は77.8%、回復期医療機関は75.6%と高い傾向があった（表11）。

表11 リハビリテーションの実施状況（機能別医療機関別）

診断病型	登録数	実施	未実施	未記入	実施率
脳卒中の機能別医療機関合計	4229	3064	892	273	72.5%
急性期	1929	1286	438	205	66.7%
急性期及び回復期	1816	1412	400	4	77.8%
回復期	484	366	54	64	75.6%
それ以外の医療機関	92	28	33	31	30.4%
総計	4321	3092	925	304	71.6%

(4) リハビリテーションの種類別実施状況（病型別）

リハビリテーションの各種別みた状況（複数回答）を表12に示した。理学療法の実施率は2,789件（66.6%）であるのに対し、言語療法は1,550件（35.9%）であった。

表12 リハビリテーションの種類別実施状況（病型別）

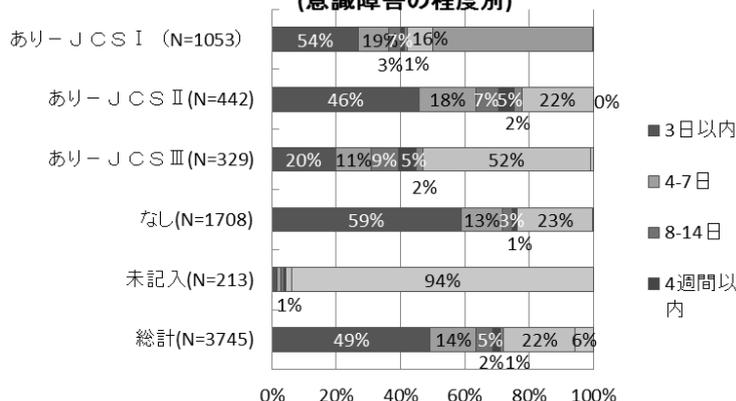
診断病型	登録数	理学療法	作業療法	言語療法
脳内出血	871	615 (70.6%)	555 (63.7%)	376 (43.2%)
くも膜下出血	298	183 (61.4%)	161 (54.0%)	97 (32.6%)
脳梗塞合計	2904	2032 (70.0%)	1731 (59.6%)	1069 (36.8%)
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	1097	818 (74.6%)	708 (64.5%)	476 (43.4%)
脳梗塞-心原性脳梗塞	699	499 (71.4%)	443 (63.4%)	299 (42.8%)
脳梗塞-ラクナ梗塞	576	396 (68.8%)	326 (56.6%)	143 (24.8%)
脳梗塞-その他の脳梗塞	325	190 (58.5%)	172 (52.9%)	103 (31.7%)
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	77	51 (66.2%)	47 (61.0%)	22 (28.6%)
脳梗塞-未記入	130	78 (60.0%)	35 (26.9%)	26 (20.0%)
その他の非外傷性頭蓋内出血	28	7 (25.0%)	6 (21.4%)	2 (7.1%)
TIA	220	42 (19.1%)	30 (13.6%)	6 (2.7%)
総計	4321	2879 (66.6%)	2483 (57.5%)	1550 (35.9%)

(5) 急性期治療を担う医療機関*におけるリハビリテーション開始までの日数

入院日から3日以内のリハビリテーション開始は49.2%であった。意識障害の有無別にみると、3日以内の開始は「意識障害なし」の群で58.9%を占めた。また、「意識障害あり」のうち最も重度であるJCSⅢの群でも、19.8%で3日以内にリハビリテーションが開始されていた（図23）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

図23 リハビリテーション開始までの日数
(意識障害の程度別)

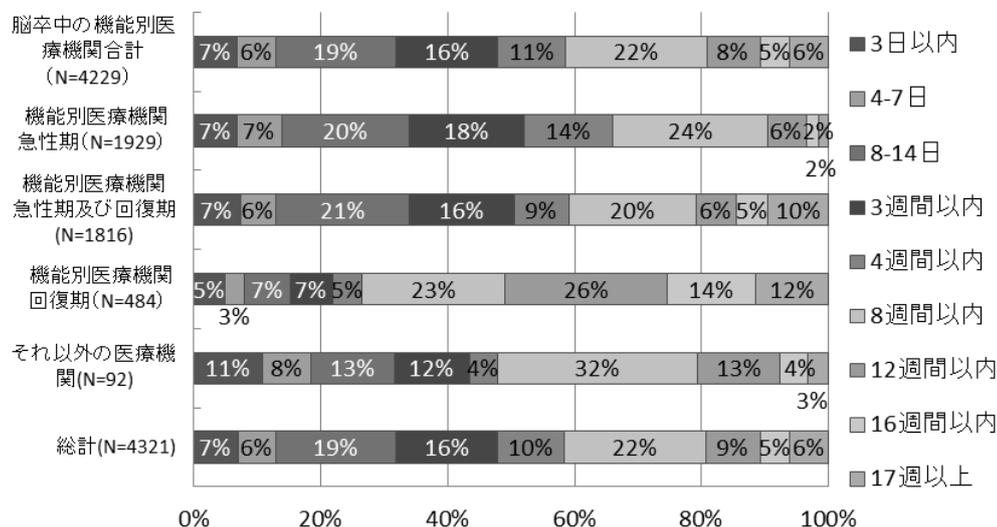


6) 入院から退院までの日数

(1) 入院から退院までの日数 (機能別医療機関別)

急性期医療機関では、入院から4週間以内に62.7%が退院しているが、回復期医療機関では26.4%であった(図24)。

図24 入院から退院までの日数(機能別医療機関別)



(2) 入院から退院までの日数 (退院後の患者転帰別)

自宅退院は、入院から3週間以内が60.2%であった。医療機関への転院は、入院から8週間以内が81.1%を占めた(図25)

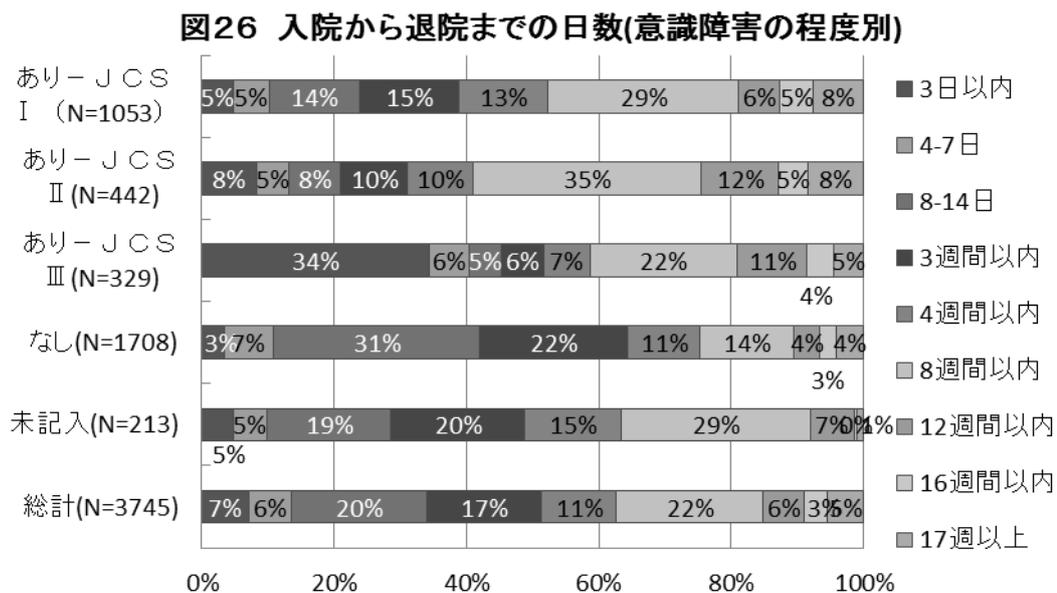
図25 入院から退院までの日数(退院後の患者転帰別)



(3) 急性期治療を担う医療機関*における入院から退院までの日数（意識障害の程度別）

入院から4週間以内の退院が全体の62.7%を占めた。入院から4週間以内の退院を意識障害の有無別にみると、「意識障害なし」では75.4%と最も多かった。一方、JCSⅢの群においては、入院日から3日以内の退院が34.3%で、113件中110件が死亡退院だった（図26）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計



7) 退院後の患者転帰

退院後の患者転帰の状況は図 27 のとおりであった。自宅への退院は全体の 54.4%を占め、次いで医療機関への転院が 28.2%であった。病型別にみると、自宅への退院率が高かったのは TIA (90.0%) であった。

自宅への退院について、機能別医療機関別では、回復期の機能別医療機関が 69.2%と多かった (図 28)。

図 27 退院後の患者転帰(病型別)

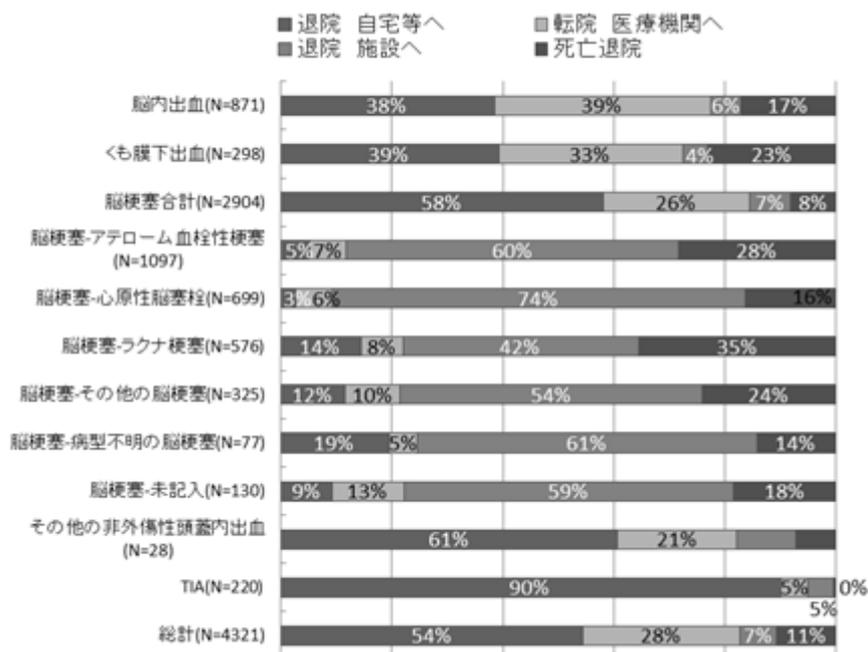
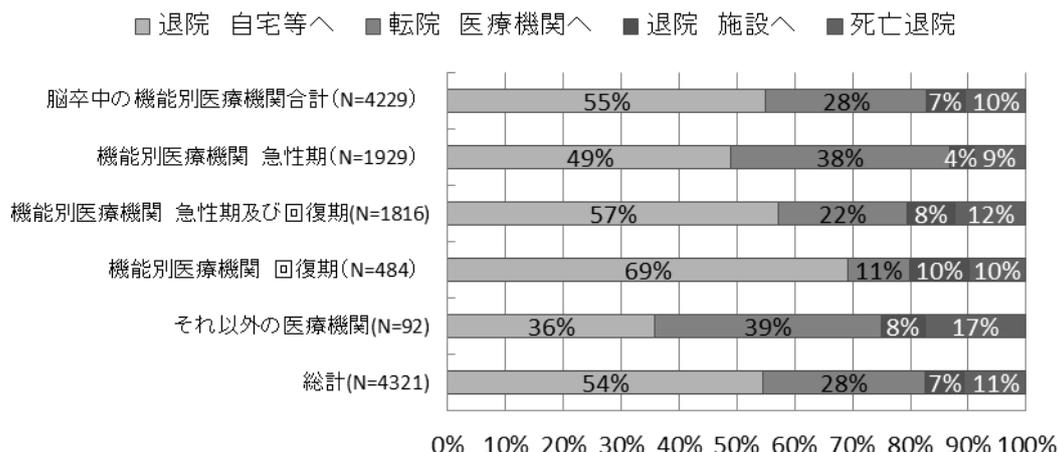


図 28 退院後の患者転帰(機能別医療機関別)



6 発症時合併症の状況

1) 性別年齢階級別にみた発症時の合併症

性別年齢階級別にみた発症時の合併症（高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動）の状況は図 29-1、図 30-1、図 31-1、図 32-1 のとおりであった。

図29-1 発症時の合併症(高血圧あり)

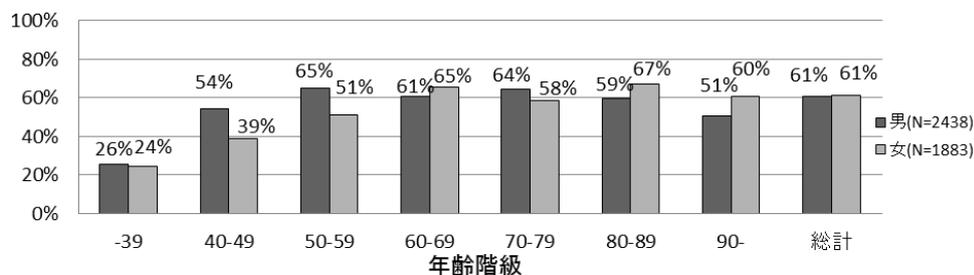


図30-1 発症時の合併症(糖尿病あり)

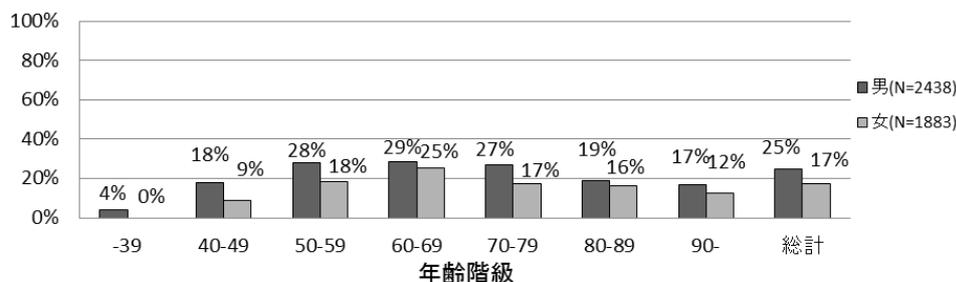


図31-1 発症時の合併症(脂質異常あり)

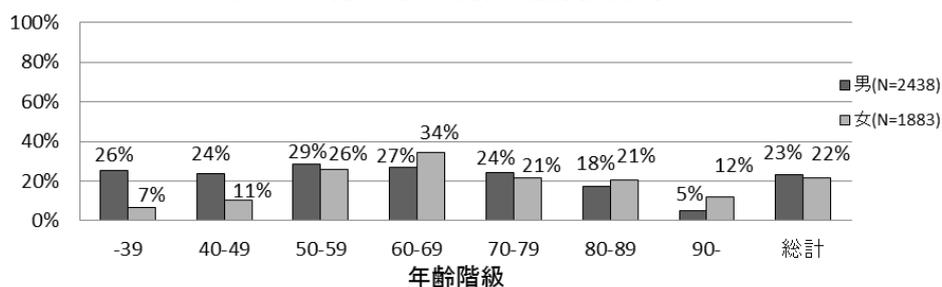
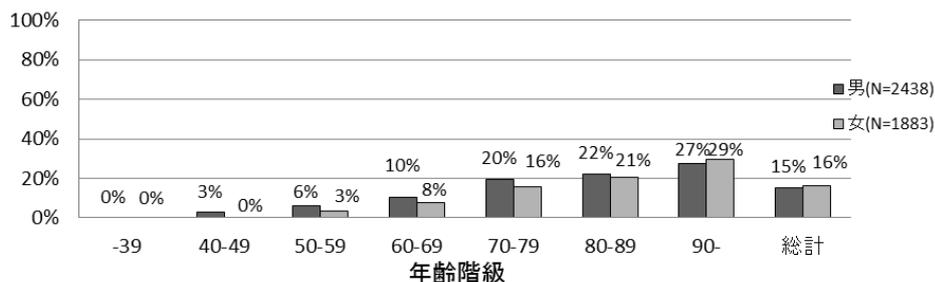
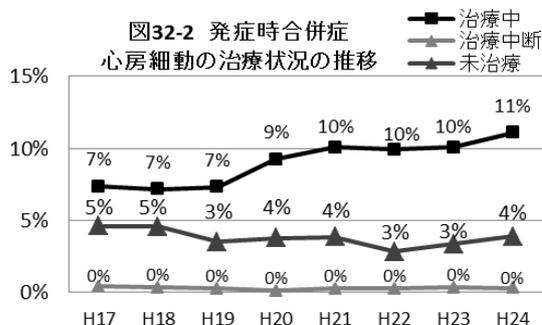
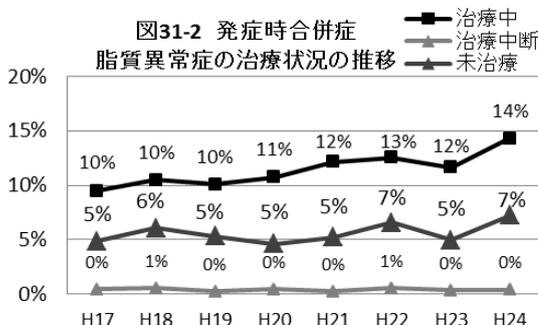
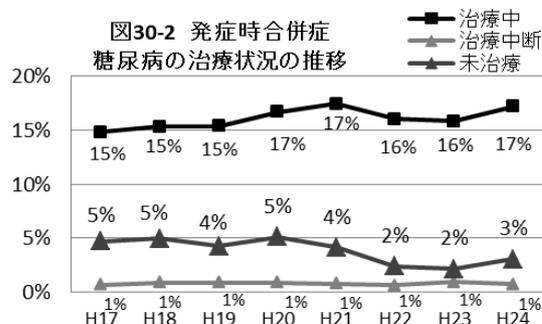
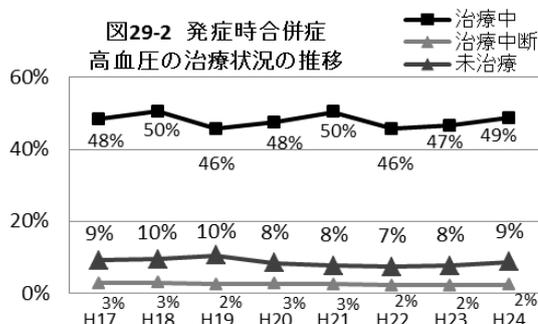


図32-1 発症時の合併症(心房細動あり)



2) 治療状況の内訳別にみた発症時の合併症

治療状況の内訳別にみた発症時の合併症は、図 29-2、図 30-2、図 31-2、図 32-2 のとおりであった。発症時高血圧の治療状況はほぼ横ばいであったが、糖尿病及び心房細動では治療中の割合が増加傾向、未治療の割合が減少傾向であり、脂質異常症では治療中及び未治療の割合が増加傾向であった。



7 生活習慣等の状況

1) 喫煙習慣

性別年齢階級別にみた発症時の喫煙習慣の状況は、「発症まで喫煙あり」が男で 29.2%、女で 5.9%、「過去に喫煙あり」が男で 30.4%、女で 5.2%であった（図 33・34）。

病型別にみた喫煙習慣の状況は図 35、急性期治療を担う医療機関*における意識障害の程度別は図 36 のとおりであった。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

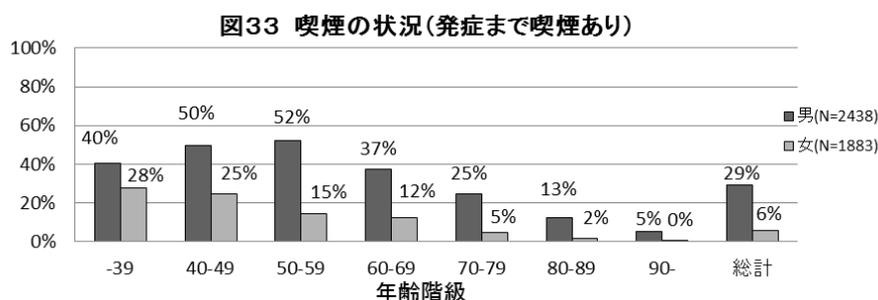


図34 喫煙の状況(過去に喫煙あり)

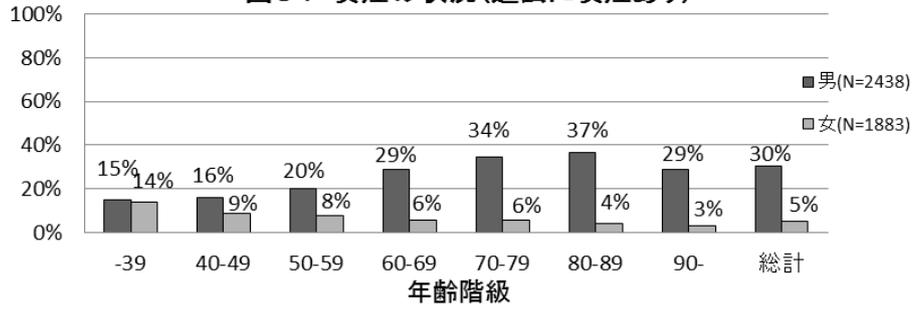


図35 発症時の喫煙習慣(病型別)

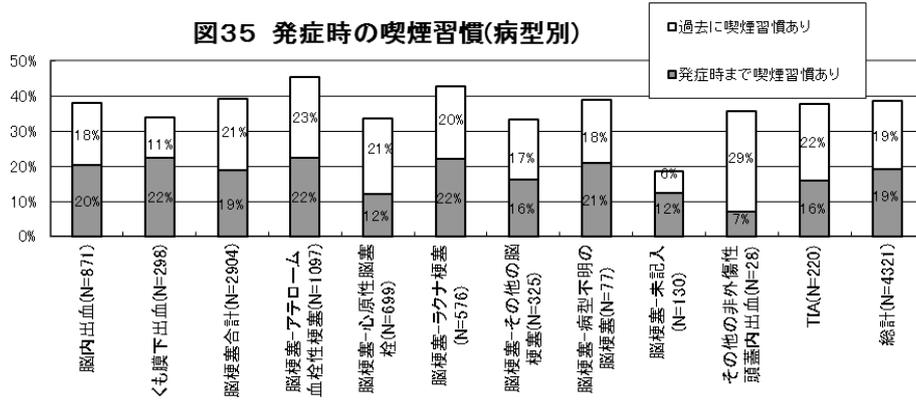
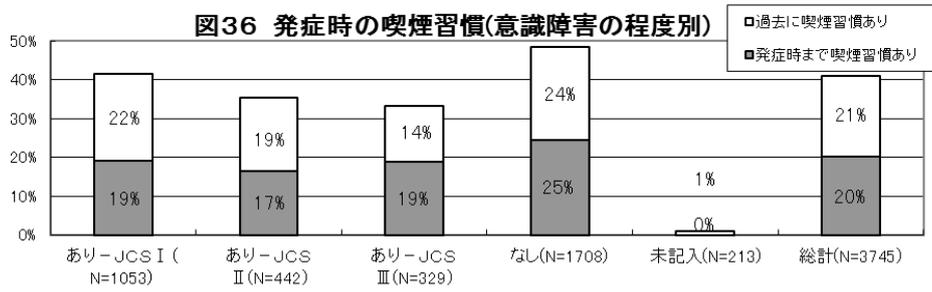


図36 発症時の喫煙習慣(意識障害の程度別)



2) 飲酒習慣

性別年齢階級別にみた発症時の飲酒習慣の状況は、「毎日飲酒」が男で31.7%、女で17.2%、「機会飲酒」は男で17.2%、女で8.6%であった(図37・38)。

病型別にみた飲酒習慣の状況は図39、急性期治療を担う医療機関*における意識障害の程度別は図40のとおりであった。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

図37 飲酒の状況(毎日飲酒あり)

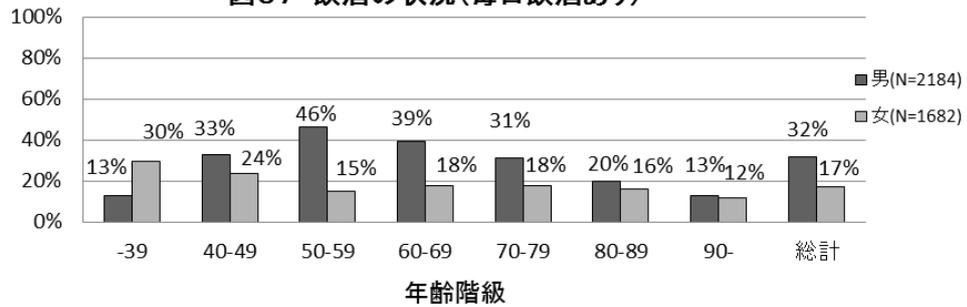


図38 飲酒の状況(機会飲酒あり)

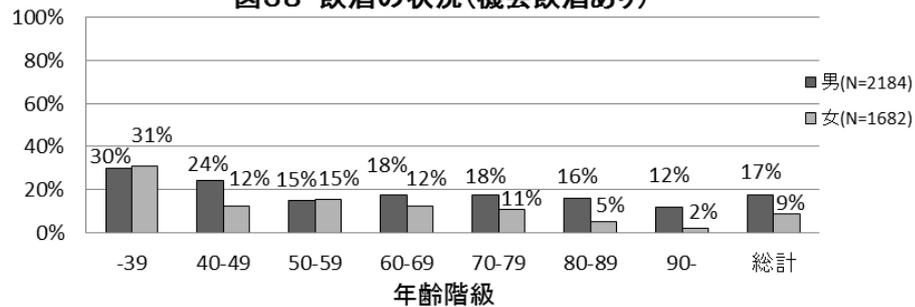


図39 発症時の飲酒習慣(病型別)

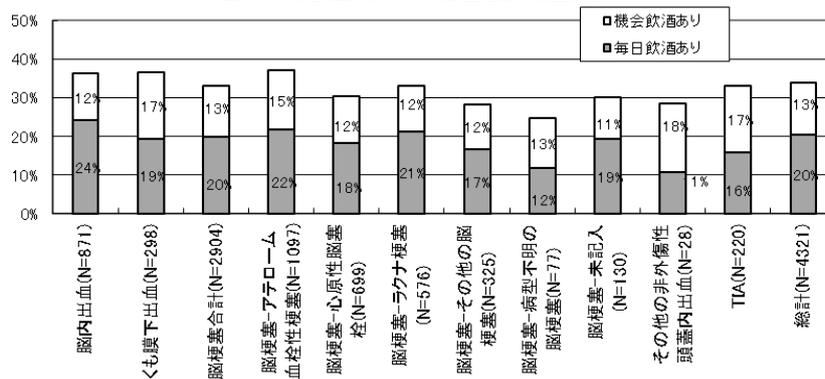
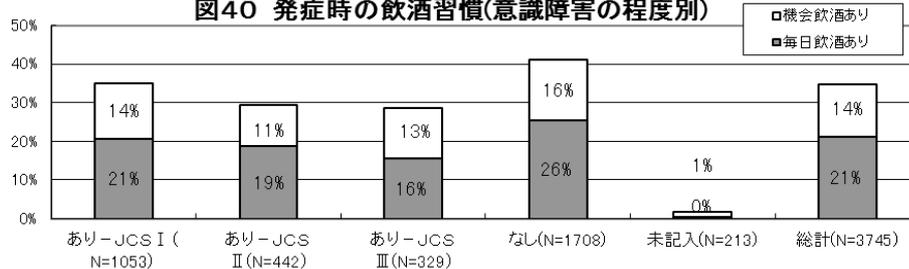


図40 発症時の飲酒習慣(意識障害の程度別)



3) 肥満

性別年齢階級別にみた BMI 25.0 以上及び肥満ありの者の割合は男で 25.0%、女で 20.6%であった (図 41)。

病型別にみた肥満の状況は図 42、急性期治療を担う医療機関*における意識障害の程度別では図 43 のとおりであった。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

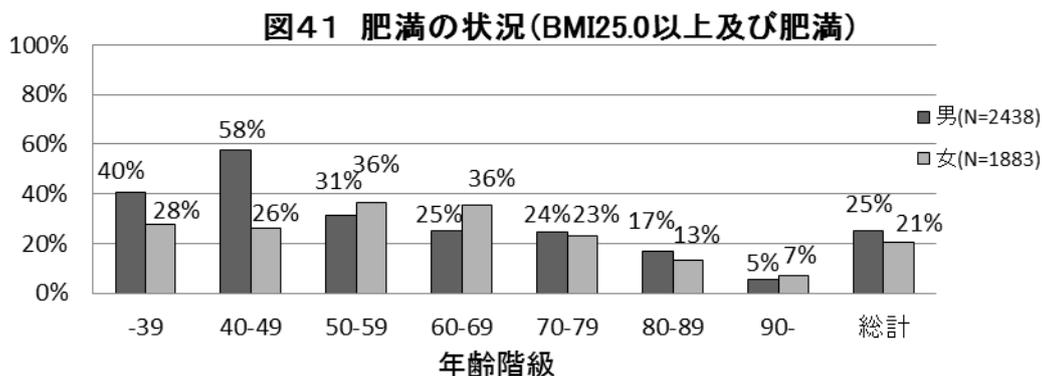


図42 肥満の状況(病型別)

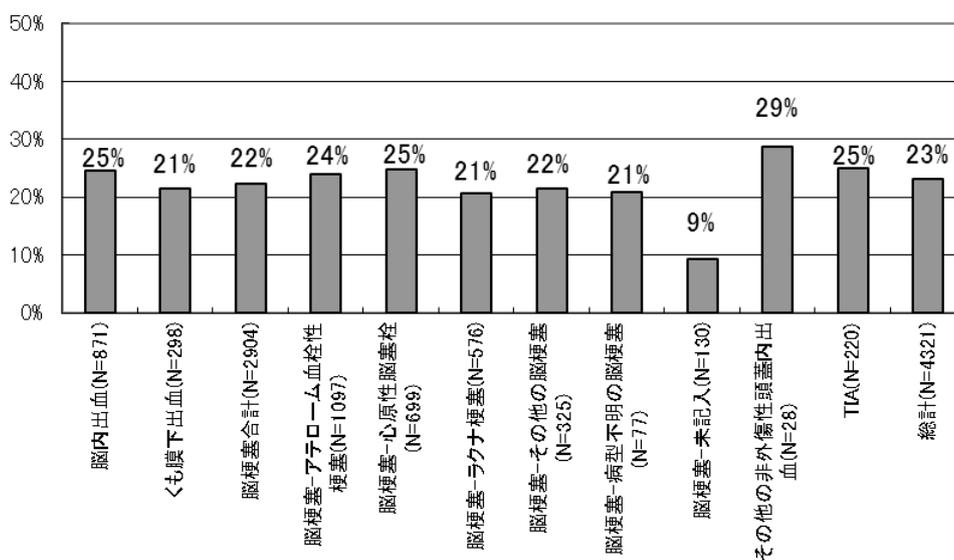
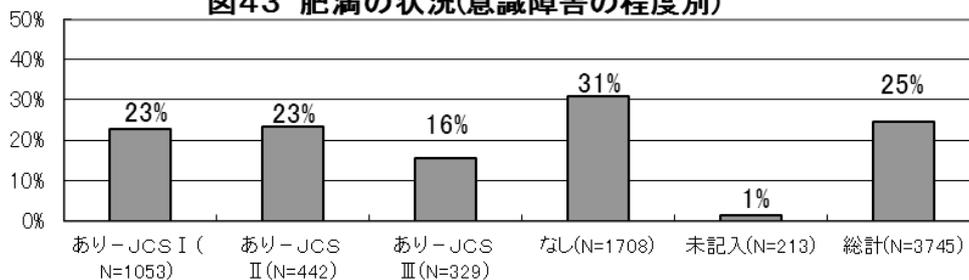


図43 肥満の状況(意識障害の程度別)



8) 急性期治療を担う医療機関*における脳卒中啓発プロジェクト啓発の状況

脳卒中啓発プロジェクト事業として、平成24年10月より、積極的な脳卒中啓発活動を実施した。この啓発活動の時期に基づき、入院した月ごとに（啓発前：平成24年9月以前の9ヵ月間、啓発中：平成24年10月から12月の3ヵ月間）に区分した図を示す。

意識障害の区分別では、意識障害ありが啓発前で44.3%、啓発中で45.1%、意識障害なしが啓発前で40.8%、啓発中で46.8%であった（図44）。

また、3時間以内に受診した割合は、啓発前で30.1%、啓発中で29.6%であった（図45）。
受診の手段は、救急車（消防）が啓発前44.8%、啓発中43.6%であった（図46）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

図44 入院月区分別(意識障害の区分別)

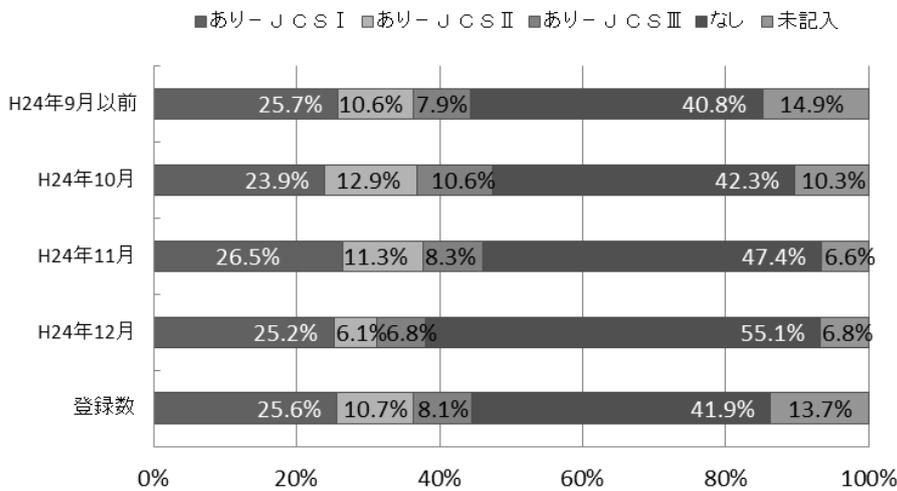


図45 入院月区分別(受診までの経過時間)

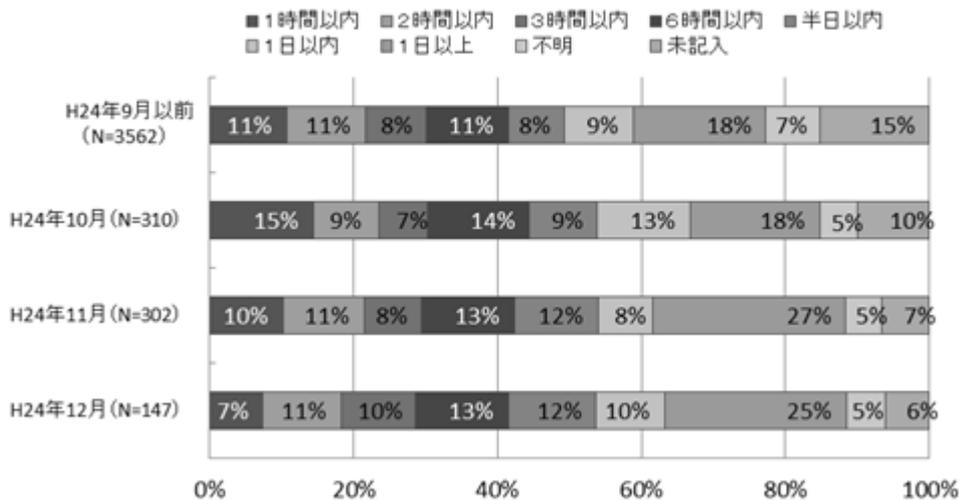
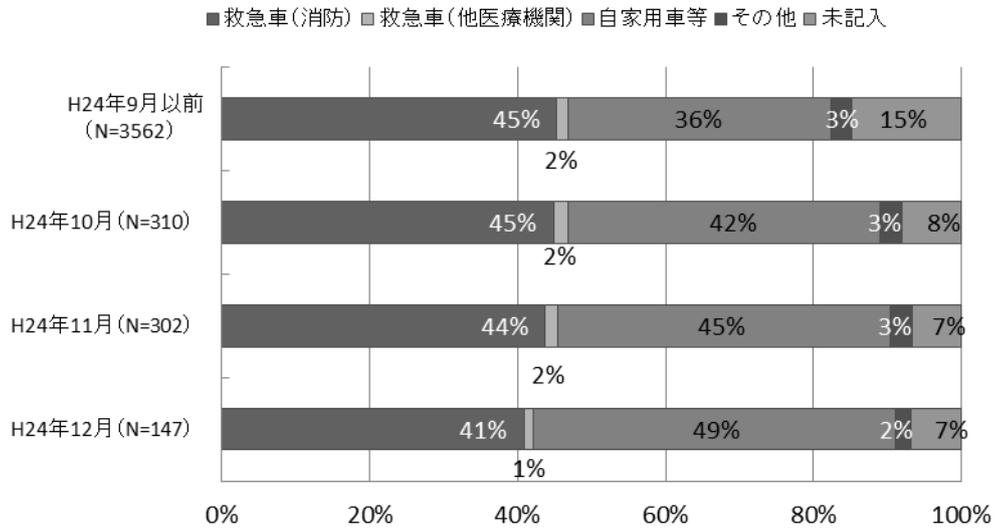


図46 入院月区分別(受診の手段)



【参考】 発症月別診断病型別登録件数 (平成 25 年 12 月 31 日受付分まで)

図47-1 平成24年 発症月別診断病型別登録件数

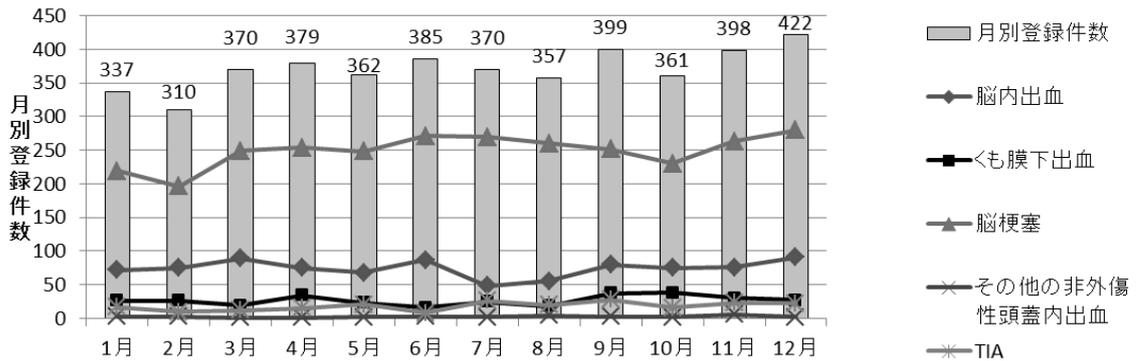


図47-2 平成24年 発症月別診断病型別1日あたり登録件数

